

脳神経内科、整形外科双方の視点で 筋骨格疾患にアプローチする!

杉田陽一郎

東京ベイ・浦安市川医療センター 神経内科



日常臨床ではたとえ神経や整形外科を専門としていなくとも、筋骨格系の疼痛やしびれといった問題を避けて通ることはできません。こ

うした common な症候に対して、方向性ではなく脳神経内科、整形外科双方の視点からアプローチすることで、より立体的に臨床像を把握することができればという思いから、本特集テーマを企画させていただきました。

脳神経内科はしびれの原因を評価する立場、また整形外科は評価のみならず治療する立場として、それぞれの視点を組み合わせることによって、プライマリ・ケア領域で役立つ内容になっているのではないかと思います。

私が脳神経内科からの視点から、それぞれの分野に精通された先生方にご執筆をお願いしました。また本書の整形外科パートは整形外科の若手として活躍されている岩田秀平先生に編集協力をご担当いただきました。

本特集が皆様方の筋骨格疾患の臨床でお役に立ていただけることを祈念しております。 **G**

岩田秀平

千葉大学大学院 医学研究院 整形外科学



本号は、初期・後期研修の先輩で脳神経内科医として大活躍中の杉田陽一郎先生のお誘いで、脳神経内科と整形外科それぞれの視点から

筋骨格疾患を深掘りした特集となっております。筋骨格疾患であっても、問診による事前確率の設定、丁寧な身体診察、そして適切な画像検査に基づいて診断に至るべきであると考えます。

私自身、脊椎外科医として日々診療するにあたり、脳神経内科疾患との鑑別に頭を悩ませることも多いです。脳神経内科の書籍や文献、(そして杉田先生のホームページ「医学事始¹⁾」!)で疾患の知識を学ぶことも多いため、本特集の企画・編集を通して大変勉強になりました。

整形外科分野に関しては私も世話人を務めている「先進整形外科エコー研究会²⁾」で活躍する新進気鋭の若手整形外科医がとてもわかりやすい原稿を執筆してくれました。筋骨格疾患に対する整形外科医からの視点も学んでいただければ幸いです。

本特集がプライマリ・ケアでよく出会う筋骨格疾患の診療に少しでも役立つことを願っております。 **G**

文献

- 1) 医学事始: <http://igakukotohajime.com>
- 2) 先進整形外科エコー研究会: <https://smap20161112.wixsite.com/smap>
(URL は 2023 年 12 月 18 日閲覧)